



Press Release

2014年7月14日
ダウ化工広報室

ダウ化工、今年も笠岡市立カブトガニ博物館へ寄贈

～「カブトガニ百科」コーナーが新設～



(左：ダウ化工社長 杉山 隆博、
右：笠岡市 三島 紀元市長)



寄贈式の様子

ダウ化工株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：杉山 隆博）は、2014 年も「地域社会繁栄への貢献」ダウ・プロジェクトに基づき、岡山県笠岡市に向けた寄贈計画を実施しました。2014 年 7 月 11 日、ダウ化工社長の杉山 隆博および笠岡工場長の芝沼 光司が笠岡市立カブトガニ博物館を訪問し、笠岡市の三島 紀元市長に寄贈目録を手渡しました。

2006 年よりダウ化工は、笠岡市教育委員会を通じて地元での地域貢献を目指した寄贈プログラムを開始しました。笠岡市との協議の結果、寄贈プログラムは、笠岡湾のカブトガニとカブトガニ繁殖地に指定されている海岸周辺の保護および教育に寄与することを目的として継続しています。ダウ・プロジェクトを開始して9年目となる2014年は、カブトガニについて専門的な知識を得るための「カブトガニ百科」コーナーで使われる、モニターおよびタッチモニターを含む設備をカブトガニ博物館へ寄贈しました。これまで設置されていた手作りの冊子には随所に傷みが見られ、修復が難しくなっていました。資料を電子化することで来館者の閲覧性が向上するとともに、図解や写真などを含む貴重な資料の損傷を防ぐことができます。ダウ化工は、カブトガニ博物館の資料がさらに充実することで、来場者によるカブトガニへの関心が高まると同時に、最終的には干潟の環境保全に向けた来場者の意識が高まり、地元の海岸が美しく保たれ、笠岡の知名度アップにもつながることを期待しています。

今回の寄贈に関し芝沼 光司工場長は、「寄贈プログラムを長期的に継続することを通じて、工場の地元である笠岡湾の自然保護に着実な成果を残すことができればと願ってい

ます。ダウ化工が笠岡市で 30 年以上操業する『スタイロフォーム™』断熱材の工場も順調な稼働が続いています。地元経済そして環境への貢献を目指し、今後も笠岡工場一丸となって努力いたす所存です」と述べています。

ダウ化工は、米国石油化学品トップのダウ・ケミカルの子会社です。ダウ・ケミカルの「2015 年持続可能目標」のひとつに「地域社会繁栄への貢献」があります。この目標の達成を目指した国内活動の一環として、ダウ化工は、今後も地域貢献活動を工場の所在地である笠岡市で実施していく計画です。

ダウ化工の笠岡工場は、1982 年より「スタイロフォーム™」押出発泡ポリスチレン板の生産に従事しています。「スタイロフォーム™」は住宅やビルの断熱材として世界中で広く利用されています。

®™ ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

ダウ化工広報室 沢登（電話：03 5460 6276 メール：rsawanobori@dow.com）

★写真をご希望の方は沢登まで E メールでご連絡ください。

ダウは、科学技術の力を用いて、人々の進歩に本当に必要なことにイノベーションを起こします。化学、物理、生物学の力を結集し、清潔な水、クリーンエネルギーや省エネ、農業の生産性向上など、世界が直面する課題の解決に取り組んでいます。化学産業を代表する、ダウの統合化された機能性化学品、先端材料、農業科学品およびプラスチック事業は、成長著しい包装材料、エレクトロニクス、水、コーティングや農業などの分野において、約 180 カ国で製品やソリューションを提供しています。2013 年の年間売り上げは 570 億ドル以上、従業員数は約 5 万 3 千人です。世界 36 カ国 201 カ所の生産拠点で、6 千を上回る製品の生産に従事しています。米国ミシガン州に本社を置くダウは、1973 年に東京証券取引所に上場した最初の外国企業です。
www.dow.com

<付随情報>

これまでの笠岡市への寄贈について

- 2006 年 カブトガニ繁殖地の天然記念物保護啓発看板（3 基）およびカブトガニ博物館の屋外ベンチ（5 基）を寄贈
- 2007 年 カブトガニ繁殖地の天然記念物保護啓発看板（3 基）を寄贈
- 2008 年 カブトガニと同時代に生きた恐竜（プロトケラトプス）の骨格模型（高さ 1.8 メートル）を寄贈
- 2009 年 カブトガニ繁殖マップを寄贈
- 2010 年 ドイツで発見された 13 メートルに及ぶ 1 億 5 千万年前のカブトガニ這い跡化石レプリカの展示パネルを寄贈
- 2011 年 大型モニターや DVD プロジェクターを内蔵した総合展示器具を寄贈
- 2012 年 ティラノサウルス・レックスの頭骨模型を寄贈
- 2013 年 「カブニのクイズコーナー」展示に使われるモニターとタブレット端末を寄贈